

一粒の麦 場面十一
北海道へ渡る



トミ明治27年、
志方の姉シメの子として産まれる。
父を亡くしたこの子の両親は・・・、私たちしかいない。

1891(明治24)年、理想郷の建設に意欲を持つ志方は北海道に渡り、吟子はしばらくは東京から支援しますが、やがて志方を支えるため自らも北海道を渡ることを決意。吟子も北海道に渡り、インマヌエル(現 北海道今金町)に入ります。ここで、志方の姉の子トミを養女としています。



▶インマヌエル教会

1897(明治30)年、吟子は、瀬棚で医院を開業するとともに、淑徳婦人会や棚瀬日曜学校の創設に貢献しました。1905(明治38)年開拓や伝道に励む志方は病を患い瀬棚の会津町の自宅で亡くなりました。享年41歳、吟子が54歳のときでした。志方の墓はインマヌエルに建てられました。

一粒の麦 場面十二
夫 志方の死



瀬棚のシンボル・三本杉岩近くの海岸で、
夫の志方を亡くした吟子を、中村市五郎が励ます。

資料提供 (株)現代ぷろだくしょん
写真提供 (株)トライストーン・エンタテイメント
引用元 映画『一粒の麦 荻野吟子の生涯』facebook / Imgrum#荻野吟子photos&videos
若村麻由美 mayumi wakamura official

パネルその七

写真と解説はイメージです。史実と異なる場合もあります。